

湧水・清流保全宣言都市

東久留米の湧水マップを発行しました



▲市内の主な湧水点を地図と写真で紹介しています

市内には都内でも有数の湧水が保全されており、「落合川と南沢湧水群」は環境省による「平成の名水百選」にも選定されています。また、市では「湧水・清流保全都市宣言」において、こうした湧水を将来にわたって保全することを宣言しています。

今回、「東久留米市市民環境会議水とみどり部会」が調査・編集した「東久留米の湧水マップ」(展開サイズB2版)を発行し、4月1日(火)から無料で配布しています。

河床や川の護岸など、普段何気なく歩いている場所に湧水があります。豊富な湧き水が魚や鳥などさまざまな生き物を育んでいます。このマップを基に市内の自然を見直してみてもいいかがでしょうか。

【マップの主な内容】市内の湧水点の紹介、市の地形と湧き水【マップ配布場所】環境政策課(市役所5階)、生活文化課(同2階)、市民課(同1階)、上の原連絡所、東部・南部・西部の各地域センター、各地区センター、郷土資料室など

詳しくは環境政策課みどり公園担当☎470-7753へ。

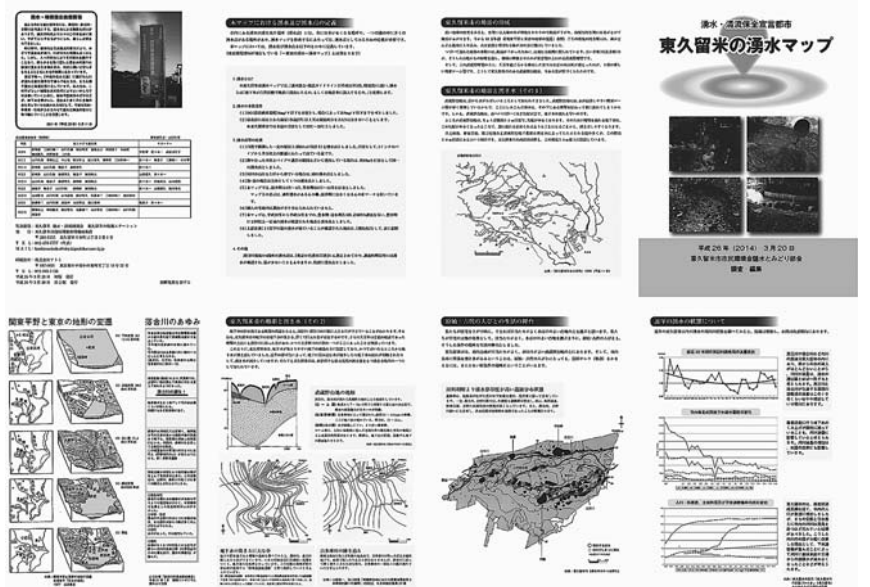
私たちのまち東久留米市には、黒目川・落合川・立野川を代表とする、湧き水による幾筋もの川があります。縄文の時代より人々はこの清き水に集い、やがてむらやまがつけられ、暮らしが営まれてきました。

時は移り、都市化と生活様式の変化により、みどりや湧き水が減り、川が汚れた時期もありました。しかし、人々の努力によりその流れを絶やすことなく、清らかさを取り戻した湧き水の流れは清流に集まる生き物を育み、市民に潤いと安らぎを与えるとともにまちの象徴にもなっています。

東京で唯一、「平成の名水百選」に選ばれた川が流れる東久留米市で暮らす私たちは、まちを潤す湧水と清流を誇りとしています。私たちは、このすばらしい環境を次の世代によりよいかたで引き継いでいくために、樹林や農地のみどりなどが、地下水を豊かにし、湧き水と多くの生き物の命を育んでいる仕組みを大切に、今後市民・事業者・行政が力を合わせて湧水と清流の保全に取り組んでいくことを宣言します。

湧水・清流保全都市宣言

2011年(平成23年)6月11日



▲市の地形について解説しています

平成の名水百選

環境省では、水環境保全の一層の推進を目的として、昭和60年3月に選定の「名水百選」に加え、平成20年6月に新たな名水として、全国各地の湧水、河川、用水、地下水の中から「平成

の「名水百選」を選定しました。地域の生活に溶け込んでいる清らかな水や水環境の中で、特に地域住民などによる主体的かつ持続的な水環境の保全が行われている場所が対象となりました。

副市長の選任・教育委員会委員の任命について同意されました

26年第1回市議会定例会初日の3月3日、追加議案として、東久留米市副市長の選任について、「東久留米市教育委員会委員の任命について」の議案が上程され、同意されました。これにより、空席となっていた副市長に永田昇(ながたのぼる)氏(64歳)、教育委員会委員に直原裕(なおはらひろし)氏(59歳)の就任が決まりました。任期は、いずれも26年4月1日～30年3月31日の4年間です。

任期満了に伴い、25年7月31日付退職。



永田昇氏

教育委員会委員に直原裕氏

同氏の主な経歴は次の通りです。

昭和54年5月東京都採用その後、教育庁参事(教育政策担当)、同庁人事企画担当部長、同庁人事部長、同庁都立学校教育部長、同庁次長(都立中央図書館長事務取扱)などを歴任。



直原裕氏

《今号の主な内容》

- ・土地・家屋の価格等縦覧帳簿の縦覧が始まります 2面
- ・国民健康保険の加入・脱退の手続きを 3面
- ・春の全国交通安全運動を実施します 4面
- ・春の胃がん検診を実施します 7面